

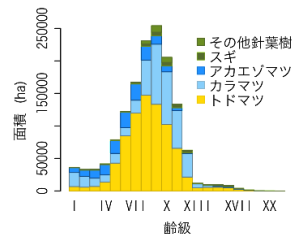
# トドマツ人工林の新たな施業指針について

道総研本部 研究企画部 知的財産グループ 滝谷 美香  
 林業試験場 森林資源部 保護グループ 徳田佐和子

## 研究の背景・目的

トドマツ人工林収穫予測ソフトウェアの改良による、多様な施業に対応したシステム開発

トドマツ根株腐朽被害の実情の把握と、腐朽程度の予測



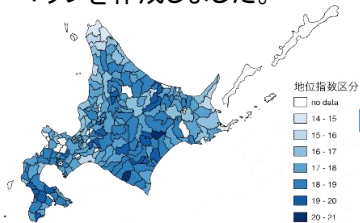
新しい施業指針の提示

・偏りのある資源の安定的・持続的利用のため  
 (平成23年度 北海道林業統計より)

## 研究の内容・成果

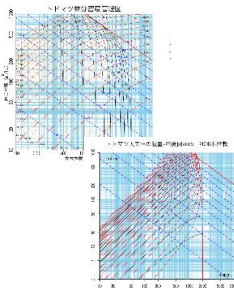
### ■多様な施業に対応可能な収穫予測ソフトウェアを開発しました。

- 市町村単位の地位\*指数マップを作成しました。



\*地位: 森林の生産性を示す指数; 樹種, 気候, 地勢, 土壌条件等に影響される

- 林分成長モデル等を作成しました。



- 収穫予測ソフトウェアを開発しました。

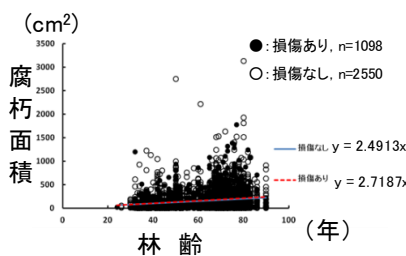


・地域の特性や実情を踏まえ、植栽から主伐まで、一貫した施業計画を検討することができます。

### ■根株腐朽被害の影響調査により被害予測を可能にしました。

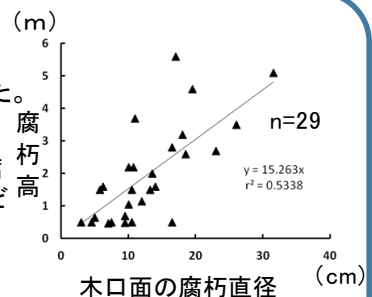
- 根株腐朽実態を把握しました。

・調査対象のトドマツ26.3%に根株腐朽被害が発生し、これら被害の約3割は根株付近の損傷に起因していました。



- 根株腐朽被害予測を可能にしました。

・林齢が上がるほど腐朽しやすく、地形などによっても腐朽程度が変わることがわかったため、被害予測式を作成しました。

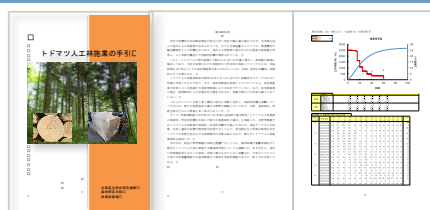


・トドマツ木口面の状態から腐朽高を大まかに推測することが可能になりました。

### ■印刷可能な普及用の施業指針(手引)を作成しました。

- 多様な施業に対応した施業指針を作成しました。

・根株腐朽被害対策や、多様な施業計画に対応した指針を提示しています。



### 今後の展開

- 出材予測への展開
- 腐朽被害を回避する施業方法の発展

・より質の高い山づくりを目指して研究を進めます。